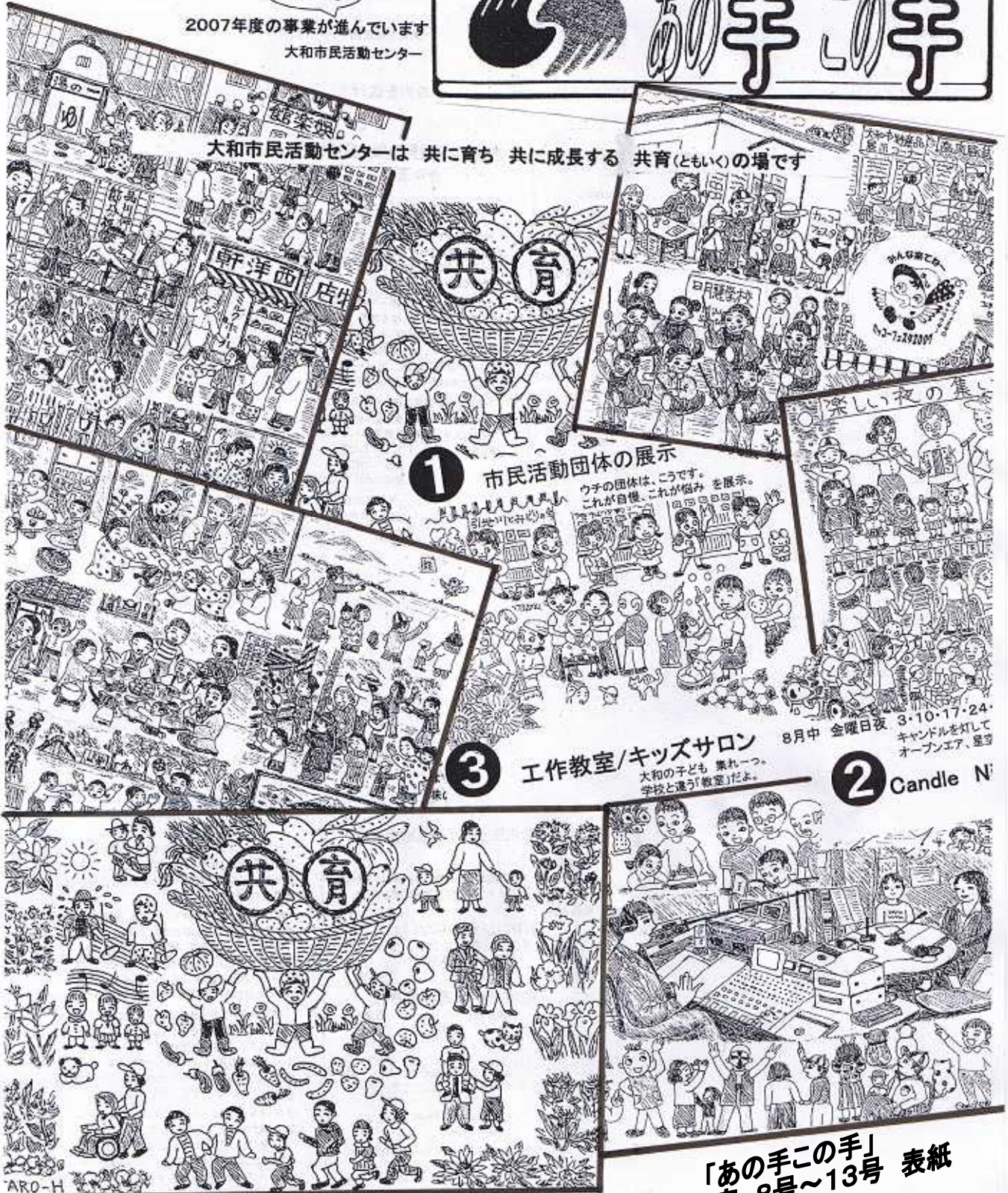


ふりかえり号2008年3月20日発行

いくつも
2007年度の事業が進んでいます
大和市民活動センター

大和市民活動センターは 共に育ち 共に成長する 共育(ともいく)の場です



1 市民活動団体の展示

ウチの団体は、こうです。
これが自慢、これが優み を展示。
同好同好同好

3 工作教室/キッズサロン

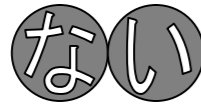
大和の子ども 集れ一つ。
学校と違う「教室」だよ。

2 Candle N^o.

8月中 金曜日夜 3・10・17・24・
キャンドルを灯して
オープンエア、昼食

「あの手の手」
今年度 8号~13号 表紙

仲間が集まら
資金が足り
活動が伝わら
会計がわから



そんな **ない** を解決する
共育マネージメントセミナーを連続で開催しました

- 2/07(水) 仲間づくり・資金づくり
ゲスト 永井 圭子さん(ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア)
森 英志さん(大和市腎友会)
館合 みち子さん(地域家族しんちゃんハウス)
- 3/14(水) 団体の会計処理
ゲスト 首藤 雅代さん(ワーカーズ・コレクティブ ケアビーくる)
- 5/24(木) どうしたら効果的なリーフレットができるか
~泣く紙、笑う紙~
ゲスト 小杉 皓男さん(協働の拠点運営委員)
- 7/20(金) NPOと法制度
~想いを形にする仕組み~
ゲスト 椎野 修平さん
- 9/25(火) 助成金・補助金の「申請書」の書き方
~こうすれば、相手のハートをゲットできる~
ゲスト 小山 紳一郎さん(かながわ国際交流財団)
- 11/27(火) 人が続々集まってくる
イベント企画のへそはここにある
ゲスト 赤堀 正己さん(大和市職員)
畠山 崇さん(大和市職員)
- 1/28(月) NPO団体の「決算書」づくりのコツ
~手早く正確、分かりやすい決算書づくりの勘所~
ゲスト 富岡 弘文さん(税理士)
- 3/05(水) 市民活動団体と企業・事業者との縁結び Part1
ゲスト 白川 富一さん(イオン大和鶴間店副店長)
*資料は大和市民活動センターにあります。

FM やまと 「やまとっこ みつけた」に



出演者のコメント

「みらい」の皆さん

本番中あがってしまって、何を話したか全然覚えていないので、センターに寄って録音テープを聴いて、思っていたことの半分も話せなかったことがわかった。でも、いい経験だった。



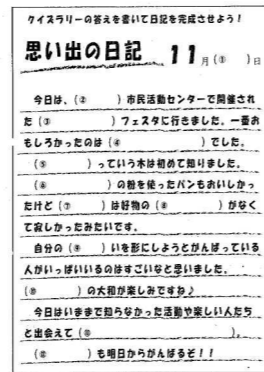
<< 研修 >>

市民活動センターは共育をテーマに活動しているので、毎日が研修と言っても過言ではないのですが、外部における研修に運営委員、事務局スタッフが以下の研修に参加しました。

- ・かながわコミュニティカレッジ子ども支援者養成講座
- ・公設市民活動支援施設人材養成講座
- ・NPOと行政の対話フォーラム 08「温故知新」
~めざす連携の姿とは~
特別プログラム「何のため、誰のための支援センター？」
- ・地域ボランティアエアポート連絡会

カッコフェスタ2007
~わたしを大事に~

カッコフェスタ(活動交流フェスタ)は11月3日(土)、4日(日)の2日間開催し、参加者が1500人を超えました。
“わたしを大事に”をテーマに「相談コーナー」「情報コーナー」「イベントコーナー」の3つのコーナーに分かれて、参加団体が工夫を凝らして活動をアピールし、交流しました。
「思い出の日記」と題してのクイズラリーを実施しましたが、答えが難しかったのか、貼り出した“答えの紙”を探すのに一生懸命の人が多かったです。



アンケートにも答えていただいた結果、タオル人形づくり、折り紙教室など、手作りしたものを“持って帰れる”コーナーが人気でした。風船でアンパンマンを作ってくれるコーナーでは、たくさんの子どもの列ができ、“予約”して他のコーナーを見て回るという“工夫”もされ、受け取った時の笑顔と歓声に、まわりの人たちにも同じような笑顔がひろがり、とっても温かい空間が出来上がっていました。

センター入口では、演劇グループによる懐かしい“物売り口上”が披露され、道行く人たちも足を止めて聴き入り、センターへの誘導に一役買っていたいただきました。

昨年に引き続き引地台中学の美術部の生徒さんや団体の方たちの協力でフェンスの飾りつけができたことなど、参加のしかたも多様にあって、よかったと思われれます。

来年度に向けては、早い段階で実行委員会を形成して準備する必要があるとの反省の声が出ています。

ジョニーさんからのメッセージ

大和市民活動センター便り「やまとっこ みつけた」にご出演、並びにお聞きいただいている皆様、ありがとうございます。あなたのジョニーです。
毎回様々な方々にご出演していただいているこのコーナーでは、皆様からのご意見・ご感想、メッセージやリクエストを24時間受け付けています。是非、たくさんの方にご参加いただきたいと考えております。
あなたとつながっている地元地域のラジオ放送局です。今後も、地域交流の一つの手段として、FMやまとを是非ご活用ください。

FMやまと 77.7MHz(24時間受付中)
FAX: 046 - 265 - 2777
MAIL: morning@fmyamato.co.jp

お便り: 〒242 - 8507
あて先: FMやまと「あなたのジョニー」宛
あなたからの声を、お待ちしております。



ひとつ 追加して
”よつつも”
やったんですよ~

8月にみつつもイベント? えっ!

【その2】
~工作教室/キッズサロン~
夏休み子ども企画として開催しました

「かわいいペンダント作り」<ふくろう工房>
天然の木を使って水彩で絵を描き、ラッカー処理してからペンダントに加工しました。
(参加者 5名)

「折り紙で動物を!」<折り紙サークル>
クラフトと折り紙を通して、数学的要素が組み込まれていることを知ることができました。
(参加者 6名)

「レシピはおまかせ」<食のアトリエ>
口から食べたものが、どんなところを通過して、どんなふうになるか、最後はどうなるかが見てわかるエプロンシアターで、食の大切さを勉強しました。(参加者5名)

おいしく食べて国際交流しました

- その1 シンガポール料理「Makan Makan」
- その2 ペルー料理「NAZCA」
- その3 タイ料理「イーサン」
- その4 韓国料理「民味苑」
- その5 カンボジア料理「オークン」

「日日通信」の発信

センターからの情報発信ツールに電子メールの「日日通信」があります。
2005年5月31日(火)の第1号発信から、3月5日現在633号。原則として毎日、その日のセンターの動きを伝える。外部情報、イベント情報の紹介などを取り上げてタイミングよく発信してきたつもりです。

ご意見、反論、感想など様々な反応があり、いわば双方向の意見交換の場ともなっています。
発信する事務局担当として、一日の出来事を簡単にまとめるとは、最初のうちは負担に感じてましたが、慣れるにつれて当然のように発信する習慣が身についたようです。

月単位で発行する広報紙やニュースレターが情報のフルコースだとすれば、日日通信は居酒屋の一品料理のようなものかも知れません。センターでの出来事や周辺の情報を手早く共有するために役立てば幸いです。
(事務局 間瀬富隆)

【その1】
~活動団体PRパネル~ (8月中)
登録団体による活動紹介のための展示がフリースペースで行われました。それぞれの団体の個性がキラリと光るものでした。(参加団体 5団体)

【その3】
~キャンドルナイト・ラウンジ~ (8月3・10・17・24・31日実施)
日中、センターに集うことが出来ない人でも、夜ならお互いの活動について知り合う機会が持てるのではと、8月の毎週金曜日「キャンドルナイト ラウンジ」を実施しました。
センターの駐車場に400本のキャンドルを灯して、炭火での焼きそば、焼き鳥をつまみながらビールを飲んでと、語らいの場をつくりました。通りがかりの人の参加もあり、ボランティアで焼きそば、焼き鳥を焼き続けてくれた伊東さんに感謝しつつ、おいしくビールを飲み、おおいに語り合いました。
ハワイアンバンドの演奏あり、ギターの弾き語り、南京玉簾の大道芸ありとその都度おおいに楽しみました。
参加者 人(延人数)

【その4】
~ワン・ピースの子どもたちとの交流~
たくさんボランティアさん(延べ50人)のおかげでワン・ピースの子どもたちをセンターにお招きして交流することができました。
8/6(月) かき氷を食べて、お絵かきしました。絵を描いたことがなかった子が初めて描いたのを見て、ボランティアさんが感動。
8/8(水) かき氷、綿菓子を食べた後、公園で遊んだ。
8/21(火) おせんべいにお絵かきした後、公園でジャグリングと南京玉すだれを楽しんで、風船アートのおみやげをいただいた。

高校生ボランティア 永野聖拳

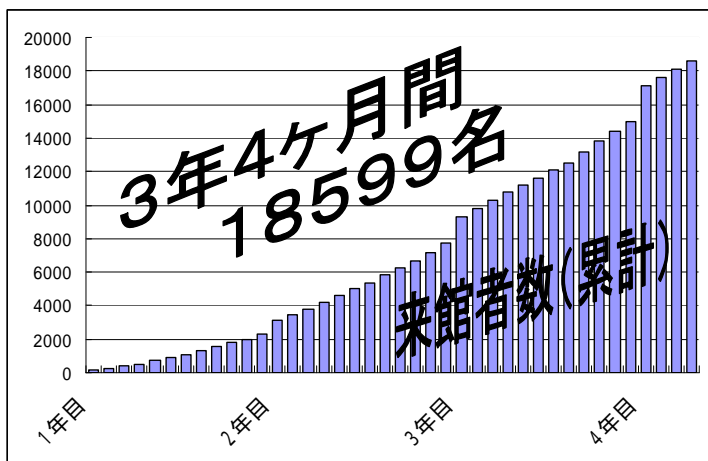
小学校の時、同級生で湘南学級(障害のある子のクラス)の子が時々僕たちの教室に来ていたな、という記憶があるくらいで、特に障害のある子だとは思っていませんでした。
市民活動センターの夏休み子ども企画で「ワン・ピース」の子どもたちと関わりをもって、障害があるからと、特別に構える必要もなく、何でもかんでも手助けしてあげなくてもいいんだ、ということがわかった。ちょっと手伝ってあげることで“出来る子たち”なんだということがわかった。
小さい頃からいっしょに学校に行っていれば、障害者という特別な見方をする必要もなく、自然体で関わられると思う。
普段、家の中で何をしているのだろう、どんな遊びをしているのだろうと、ちょっと気になります。
*「サポートハウスワン・ピース」では障害児とその家族を支援するために、平日の午後、児童・生徒の日中一時支援(預かり)をしている。

おしゃべりラウンジ・パルスを開催しました
~ドキドキするんだよ。ここに来ると~

- 盛り上がったか、盛り下がったか、**
- 5/26(土) 参加者の自己紹介から個性あふれる会話がはずんだ
 - 6/16(土) ネパール支援の話でアドバイスする人も現れた
 - 7/21(土) 男の料理教室の話で盛り上がり、キャンドルナイトの話につながった
 - 9/22(土) 和菓子から話が広がり、温かいやさしい気持ちになれた
 - 10/26(金) カッコフェスタ参加のしかたで意見がさくさん出た
 - 12/ 8(土) ワーカーズ・コレクティブ想による介護の想談、介護用品の紹介、使い方を習った
 - 12/22(土) クリスマスバージョンで開催。寄付された景品でビンゴゲームを実施しておおいに盛り上がった
 - 1/23(水) ”あなたの声お聞かせください”
 - 3/29(土) 大和市在住の絵本作家手塚カズさんを囲んで歓談

大和市民活動センターの これまでの歩みを 数字で見ると

市民活動センターがスタートしてから3年5ヶ月がたちます。その間、来館者数もグラフのように増え、様々な活動が展開されました。



3月5日現在の利用状況

来館者数	18599人
登録団体数(含む個人登録)	235団体
会議室利用件数	711件
多目的ルーム利用数(除く保育利用)	45件
ロッカー契約数	16個
レターケース契約数	40個

ある日ある時

8月13日(月)

真夏の1日、関係者の手で穴掘り、砂利入れ、コンクリート作りなどの土木作業が行われ、センター道路側に掲示板が立ちました。イベントなどさまざまな情報が発信できるようになりました。

10月25日(木)

「FMやまと」とケーブルTV「メヂアッティかながわ」の同時生放送が実現。カッコーフェスタのPRをしました。

11月2日(金)

フリースペースから会議室に通じるドアの敷居の段差がサポーターの方のお骨折りで解消しました。時折つまづく人も多かった危ない段差でしたが、これで安心です。

11月6日(火)

「ふくしの手全員集合」人材育成講習会に参加しました。ボランティアってこんなものだ！「いっちょ、やって三日」の1日目。住民流ボランティア～日常生活の中の助け合い～を講師の木原孝久から「耳からうるこ」の話を聞きました。「たすけあい」は心の貸借対照表で、たすけられ上手になることが大事だということが分かりました。

3月3日(月)

国際化協会からボランティアの依頼がありました「第3回やまと国際交流フェスティバル」に聖セシリア女子高等学校の2年生4人が参加してくれることになりました。これを機会に学校と市民活動センターとの交流が深まることを期待します。



樋口さんの絵手紙

樋口太郎さんのコメント

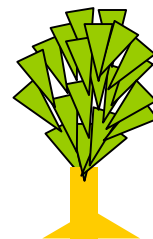
～「あの手この手」の表紙のイラスト～

広報紙の表紙絵を描いてと言われて引き受けたのはいいが、イラストを描く経験がなかったので苦労しました。4枚目か5枚目の頃から自分なりに描けるようになりました。絵の守備範囲が広がってきたように思います。

最初は3ヶ月に一度と聞いていたのに、12月から毎月発行となって時間的にキツくなってきたので3月でひとまずお休みさせていただくことになりました。

老人ホームのお年よりに絵手紙の指導をする慰問活動をしています。絵手紙を描く前に、まず、童謡を歌いながら指を動かしてから始めます。

絵手紙は頭と手を使うので、ボケ防止にとってもよいと思っています。お年寄りが待っていると思うと、自分の都合で休むわけにもいかない、という心境になっています。



イチョウのつばやき

- 雨にも負けず、
- 風にも負けず、
- 毎日センターでのできごとを見てきたよ。
- これからもイキイキと活動できる場所であってほしいな。
- 夏の太陽をさえぎり、秋にはたくさんの葉っぱを落としたけど、季節の移ろいを表現したんだよ。
- キャンドルが灯された庭はほんのりとやさしい気持ちになれたし、カッコーフェスタでの物売り口上もおもしろかったね。たくさんの人たちの歓声があつたよ。